

渋滞対策優先箇所への新たな指標による検証_新たな指標（VICSデータ）について

○新たな指標による渋滞影響の検証

- ✓ VICS データによる渋滞指標を用いて、渋滞対策優先箇所の状況を検証。
- ✓ 渋滞対策優先箇所以外で、VICS データ抽出基準を超える箇所は5箇所。

○新たな指標による渋滞影響の検証

■VICS データによる渋滞影響の検証方法

◆「渋滞見える化プラン」優先対策箇所の抽出方法

【①渋滞(年間、観光)】

STEP1: 旅行速度 20km/h 以下の区間



STEP2: 渋滞損失時間県内上位 1 割区間

【②幅員狭小等による速度低下】

STEP1: 車道幅員 5.5m 未満の区間

曲線半径 150m 以下の区間

縦断勾配 5%以上の区間



STEP2: 速度低下による損失時間県内上位 1 割区間

【③異常気象時の通行規制】

STEP1: 通行規制指定箇所の区間



STEP2: 規制による影響交通量県内上位 2 割区間



【④パブリックコメント】

(県民の皆さんの声)

渋滞対策優先箇所:39箇所

(第3回山梨県道路交通円滑化・安全委員会)

◆VICS データによる新指標

平均旅行速度が 20km/h 以下の発生時間が、

・平日: 以下の 3 時間帯において、90 分以上の箇所
(7~10h、10~13h、13~16h、16~19h)

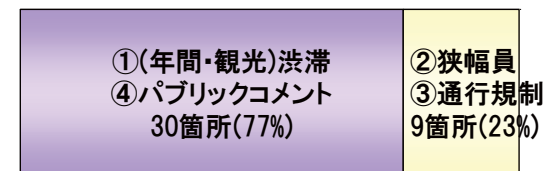
・休日: 7h~19h のうち 360 分以上の箇所

(参考)山梨県内のVICSデータ

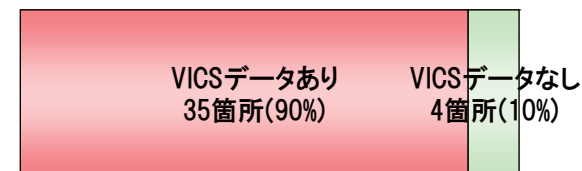


■VICS データによる渋滞箇所の検証

◆渋滞対策優先箇所 (抽出指標別の内訳)



◆渋滞対策優先箇所での Vics データの有無



◆抽出基準を上回る渋滞対策優先箇所数



渋滞対策優先箇所以外で抽出された 5 箇所については、今後、渋滞調査等を行い、対策の有無について検討。

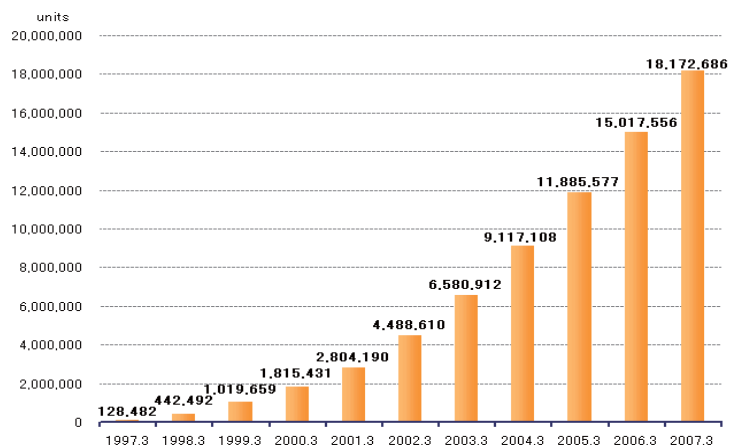
VICSについて (参考)

OVICS(道路交通情報通信システム)データとは、
道路の渋滞情報や事故情報などの道路情報をリアルタイムに取得されるデータ。
VICSセンターで処理された情報は、カーナビなどの車載器に文字や図で表示。

○沿革

- ⇒1990年3月 警察庁・郵政省・建設省をメンバーとして「道路交通情報通信システム連絡協議会(VICS連絡協議会)」発足
- ⇒1996年4月 東京・神奈川・埼玉・千葉にて情報提供サービス開始
- ⇒2001年5月 山梨地区で情報提供サービス開始
- ⇒2007年現在 全都道府県にて情報提供サービス実施中

OVICS 内蔵カーナビの利用状況



出典：国土交通省資料

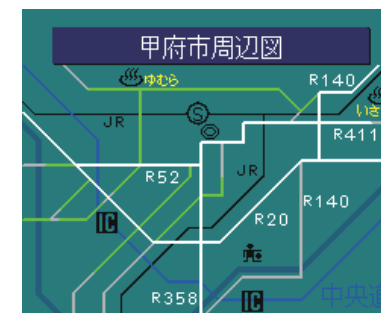
■VICSデータの情報提供の流れ



■車載器の情報表示例

御殿場→裾野 事故渋滞 5km

【文字表示型】



【簡易図形表示型】



【地図表示型】

